連絡先 厚生労働省医政局研究開発政策課 03-3595-2430

再生・細胞医療・遺伝子治療分野の情報発信

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou iryou/iryou/saisei iryou/index.html)

①実施概要

- ・ 再生・細胞医療・遺伝子治療は、今後、成長が期待される分野であり、特に将来の研究開発の担い手たる子どもや投資家等を中心に、国内外において更なる関心を惹起する必要がある。
- ・ このため、再生・細胞医療・遺伝子治療の実用化に向け実施している臨床研究支援・実用化のための技術的支援・人材教育の体制強化・マッチング支援・イベント開催等の取組を踏まえ、再生・細胞医療・遺伝子治療に関する革新的な研究開発の成果及びそれにより社会にもたらされる新たな価値(医療の発展、経済成長及び価値観の変化等)について、効果的な情報発信を行う。
- ・ 具体的には、最新の研究内容等について、模型や映像等を用いた展示を行う予定。

(実施主体) 厚生労働省、民間団体等

(実施場所)会場内(メッセ)

(実施期間)一部期間(テーマウィーク期間中を予定)

②今後の実施方針

・ 令和 5 年度は、再生・細胞医療・遺伝子治療分野の展示に関するノウハウの収集を行うとともに、大阪府市、関係学会及び研究機関等と連携しながら展示の内容等を検討する。

③予算

令和5年度予算額:2,712百万円

(関連事業「再生医療等実用化研究事業」の予算額)

(https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/002.html)

令和5年度予算額: 348百万円

(関連事業「再生医療等実用化基盤整備促進事業」の予算額)

(https://www.amed.go.jp/program/list/13/01/09.html)

4工程表

 2023年度
 2024年度
 2025年度

 展示内容の企画・検討 (大阪府市、関係学会・研究機関との調整等)
 展示内容の制作・設営等

 大阪・関西万博会場において、研究開発の成果を情報発信

医療機器等における先進的研究開発・開発体制強靭化 事業による体験コーナー

①実施概要

- ・福祉機器の開発事業で採択した製品の体験コーナー等を設置し、最新の福祉機器に触れ、その魅力を体感してもらう。
- (例) 排泄予測デバイスの体験

(実施主体) 経済産業省・民間企業

(実施場所) メッセ内を想定

(実施期間) 一部期間





②今後の実施方針

関連施策との合同開催も視野に、体験コーナーの企画・ 検討を進める。

③予算

令和5年度予算額:3,990百万円の内数

(医療機器等における先進的研究開発・開発体制強

靱化事業)※関連事業の予算額

※技術の改良・研究開発の予算であり、体験コーナー設

置等については含まれない。

https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan f y2023/pr/ip/sangi 16.pdf

②工程表 2023年度 2024年度 2025年度 (例) 体験コーナーの企画・検討 万博会場における体験コーナーの設置

日本の先進的な医薬品等の情報発信

①実施概要

- ・先進的な医薬品・医療機器等について、国内メーカーと 協力し創り上げた近未来のストーリーを映像等で体感して もらい、我が国の医薬品・医療機器産業の技術力を世界に 向けて効果的に情報発信していく。
- ・ 併せて、医療機器や再生医療等製品の海外展開が 見込まれるものについて、日本発の国際規格の制定に 向けた評価法の開発等を推進していく。

(実施主体) 厚牛労働省・個社(予定)

(実施場所) 会場内(メッセ)

映像内容の企画・検討

(業界団体等との調整)

(実施期間)一部期間(テーマウィーク期間中を予定)

※情報発信の検討にあたって、大阪府をはじめとする地元関係機関とも連携しながら行う。



(出典) 2022国際医用画像総合展 キャノンメディカルシステムズ

連絡先 厚生労働省医政局 医薬産業振興・医療情報企画課

03-3595-2421

厚生労働省医薬・生活衛生局 **医療機器審查管理課**

03-3595-2419

- 関係部局や業界団体と連携し、映像・展示内容等の情報 発信の方策について検討を行う。また、より効果的な情報発信を 行うため、他の企画との連携を調整していく。
- ・ 併せて、大学、研究機関等に対し、国際標準獲得に向けた評 価法の開発を推進する。

③予算

(医薬品等の情報発信関係)

②今後の実施方針

(国際規格関係)

革新的医療機器等国際標準獲得推進事業

令和5年度予算額:154百万円(令和4年度予算額:138百万円)

4工程表

2023年度

協力企業の募 集・決定

2024年度

映像内容の調整 (協力企業等との調整、事業実施に必要な予算要 求)

国際規格制定に向けた評価法の開発等の推進

2025年度

大阪・関西万博会場において、 日本の先進的な 医薬品、医療機器等を 情報発信

連絡先 厚生労働省社会援護局·障害保健福祉部企画課施設管理室 03-3595-2455

(http://www.rehab.go.jp/ri/)

障害者自立支援機器等開発促進

①実施概要

- ・国立障害者リハビリテーションセンターでは、障害者の自立と社会参加の促進、QOLの向上に寄与することを目的に、 障害者のニーズを的確に反映した支援機器及び支援技術の研究・開発活動を実施している。
- ・ こうした取組の成果を大阪・関西万博で展示・PRし、効果 的な情報発信を行う。

(実施主体) 国立障害者リハビリテーションセンター

(実施場所)会場内(メッセ)

(実施期間)一部期間(テーマウィーク期間中を予定)

②今後の実施方針

- ・ 大阪・関西万博で展示・PRを予定している支援機器 及び支援技術(重度障害者を対象とした①視線検出、 ②ジェスチャ認識、③遠隔就労支援ロボット等)につい て、研究・開発活動を継続する。
- ・ 展示物の製作及び解説の動画撮影を行い、展示内容の企画・検討を進める。

③予算

令和5年度予算額 216百万円

(関連経費「国立障害者リハビリテーションセンター運営費」(研究所経費) の予算額の内数)



<u>4</u>工程表

2023年度 2024年度 2025年度

先端技術を導入した支援機器の研究及び開発

新しいリハビリテーション技術の研究及び開発等

上記を踏まえた展示内容の企画・検討、展示物の製作等

センターの イベントで プレ公開

大阪・関西万博において 研究成果を展示・PR

連絡先 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課 03 - 3501 - 1790

優良なアイデア・事業の審査への参画(ヘルスケアビジネスコンテストの開催)

①実施概要

・優れたヘルスケアスタートアップ企業を発掘し、ビジネスを加速するため、2016年より毎年実施。

2025年は第10回目となる予定。(2023年5月時点で、過去の受賞企業のうち、6社が3-Startup選定、2社が上場)

・万博会場では、ヘルスケアウィーク等と連動し、期間内にグローバル規模でのビジネスコンテストの 最終審査プレゼン・表彰や、過去の受賞者等によるサービス体験イベント等を検討。日本の優れ たビジネスシーズを世界に発信し、国際展開の加速を狙う。

・また今後、グローバルアクセラレーションプログラム等、ヘルスケアスタートアップエコシステムの強化に 資する取組を実施し、万博に向けた機運の醸成及び関係性の構築を行う。

(実施主体) ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト運営事務局

(実施場所) 会場内(具体的な施設は今後要検討)

(実施期間) 一部期間



②今後の実施方針

博覧会協会と協議の上、今後の方針について検討

③予算

(ヘルスケア産業基盤高度化推進事業)

令和5年度予算額:880百万円の内数

https://healthcare-innohub.go.jp/jhec2023



2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 エコシステム強化に資する取組の実施 大阪・関西万博に おけるビジネスコン テスト開催 大阪・関西万博におけるビジネスコンテストの企画・検討

連絡先 経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課 03 - 3501 - 1790

Personal Health Record (PHR) を活用した万博体験

①実施概要

- ・個人の健康医療情報(PHR)を用いたサービスが、個人の同意に基づき様々な場所で用いら れることで、誰もが自然と健康になれる社会を目指す。万博の機会を活かし、一部を具現化する ことで、未来のサービスを来場者に体感頂くことを想定。
- ・万博会期以前からPHR事業者が提供するアプリ等へのデータ入力を「EXPOポイント」と連携す ることで推奨し、蓄積したPHRや個人の嗜好などのデータを元に個々人の健康状態に即してカス タマイズされたサービス体験(例えば、会場内の飲食店等の施設と連携し、PHRを活用し、個々 人にカスタマイズされた料理やメニューのレコメンドを行うなど)を提供する。

(実施主体) 未定

(実施場所) メッセもしくはFLE (フューチャーライフエクスペリエンス)

(実施期間) 一部期間

②今後の実施方針

・博覧会協会はじめ他関係者等との協議を通じ、 具体的な提供サービスについて検討

③予算

(ヘルスケア産業基盤高度化推進事業)

令和5年度予算額:880百万円の内数

https://www.meti.go.jp/policy/mono info servi ce/healthcare/phr.html

4工程表

2023年度 2024年度 2025年度 万博でのPHRを活用した体験提供に向けた企画・検討・準備 PHRを活用した PHRを流通させる情報基盤等の検討・整備 万博体験

連絡先 厚生労働省老健局高齢者支援課 03-3595-2888

(https://www.kaigo-pf.com/)

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000209634.html)

介護ロボット等テクノロジーの普及

①実施概要

- ・介護現場における、テクノロジーの活用によるサービスの 質の向上や職員の負担軽減といった生産性向上の推進 を図るため、介護ロボット等テクノロジーの普及に向けた支援を行っている。
- ・大阪・関西万博においては、上記の取組成果を踏まえ、 介護ロボットの体験や現場の好事例紹介を行う展示ブー スを設置するなど、介護ロボット等に関する効果的な情報 発信を行う。

(実施主体) 厚生労働省、民間企業(予定)

(実施場所)会場内(メッセ)

(実施期間)一部期間 (テーマウィーク期間中を予定)



介護ロボットの活用により介護動作時の負担を軽減

②今後の実施方針

- ・現場のニーズにあった介護ロボット等の普及等の支援を行う。
- ・上記の取組による好事例の収集などを通じて、展示内容の企画・検討を進める。

③予算 ※ 関連事業「介護ロボット開発等加速化事業」の予算額

令和4年度第2次補正予算額:387百万円

令和5年度予算額:500百万円

https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/23syo

kanyosan/dl/sanko-13.pdf

4工程表

2023年度 2024年度 2025年度

現場のニーズにあった介護ロボット等の普及等支援の実施

上記の取組による好事例の収集などを通じた、展示内容の企画・検討・制作等

大阪・関西万博において 先進的な介護ロボット等に関す る展示等を実施

スマート・ライフ・プロジェクト~健康寿命をのばそう!~

①実施概要

- 大阪・関西万博会場において、スマート・ライフ・プロジェクトを通じ、 健康づくりに係る優れた取組を行う企業、団体、自治体の発表や、参 画団体の交流や好事例の横展開を行うことで、万博を契機としたより 一層の国民や企業の健康意識の向上を図る。
- ・ また、5月31日の世界禁煙デーに始まる1週間を「禁煙週間」とし ており、万博会場において禁煙及び受動喫煙防止のイベントの開催 により普及啓発を行う。

(実施主体) 厚生労働省

(実施場所)会場内(スタジオ及び小催事場)

(実施期間)一部期間 (テーマウィーク期間中を予定) 及び

5月31日(世界禁煙デー)



②今後の実施方針

- 健康づくりに係る優れた取組について、どのような形で発表・ 紹介ができるかを、「健康寿命をのばそう!アワード」(※) の受 **賞歴のある企業等も含め、検討・調整を行う。**
- また、世界禁煙デー(禁煙週間含む)に合わせたイベントの 開催などの検討を行う。

(※)企業・団体・自治体の優れた取組について大臣表彰等を行う

③予算

令和5年度予算額:154百万円(関連経費「スマート・ライフ・プロジェクト推進事業費」)の内数 (https://www.mhlw.go.ip/wp/vosan/vosan/23svokanvosan/dl/gaivo-03.pdf)

4工程表 2023年度 2024年度 2025年度 万博会場におけるスマート・ライフ・プロジェクトの企画・検討 大阪・関西万博において イベント等を実施 関係団体との調整

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/alzheimerday2022.html

認知症バリアフリーの取組推進

①実施概要

- ・ 認知症に対する正しい知識と理解を広め、認知症になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられる「共生」社会の実現に向けたメッセージを発信する。
- ・ 具体的には、諸外国の普及啓発イベントとのコラボ行事、会場全体のオレンジドレスアップ、認知症 当事者トークイベント、関係学会の研究成果発表、認知症サポーター養成講座、認知症を正しく理 解するための展示、こども向け認知症体験、など、様々な取組みを検討。
- ・ 令和元年に策定された「認知症施策推進大綱」の対象期間が2025年までとされていることも踏まえ、認知症の人(本人)や家族も参画し、産官学が一丸となって取り組む姿をアピールする。

(実施主体) 厚生労働省、公募(認知症施策に知見のある団体を想定)

(実施場所) 会場内(メッセ)

(実施期間)一部期間(テーマウィーク期間中を予定)

②今後の実施方針

・ 2023年5月: G 7 保健大臣会合における情報発信

・ 2023年9月: アルツハイマー月間における普及啓発

・ 2023年9月21日: 世界アルツハイマーデー

③予算

令和5年度予算額:40百万円 (認知症普及啓発等事業)



オレンジドレスアップ (イメージ)

4工程表

2023年度 2024年度 2025年度

万博を活用した普及啓発の内容について検討・企画、展示内容の制作・設営等

万博での効果的な普及啓発等を実施

世界アルツハイマーデー・アルツハイマー月間(毎年9月)

0

G7保健大臣会合

「認知症施策推進大綱」の進捗確認 → 今後の施策方針検討 → 対象期間終了

ユニバーサルヘルスカバレッジって大事だね!

①実施概要

- ・世界各国の開発目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」のターゲットの1つとして「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)」の達成が位置づけられている。UHCの達成を通じて、全ての人々が基礎的な保健医療サービスが受けられ、必要な医療費を支払われることで、貧困に至るリスクを未然に防ぐことが重要であることが確認されている。
- ・ UHCの構成には、6つの要素(保健財政、サービス提供、保健人材、保健情報、医薬品・ワクチン・医療技術、リーダーシップ・ガバナンス)があり、各国においてこれらの要素を整備することが求められている。
- ・ 我が国が誇る国民皆保険などUHCの取組を世界に発信しつつ、UHCの重要性について楽しく学べる展示を関係団体と協力し会場内で開催する。

(実施主体) 厚生労働省、委託事業者

(実施場所)会場内(メッセ)

(実施期間)一部期間 (テーマウィーク期間中を予定)



②今後の実施方針

WHOなどの関係機関との調整を行う

③予算

②工程表 2023年度 2025年度 WHOなどの関係機関との調整、調査、計画 イベント準備 大阪・関西万博期間中にイベントを開催